

# 第 34 回全国在日外国人教育研究集会・神奈川大会ご案内

## 多文化共生社会の実現のための教育を創造しよう

全国の外国人登録者数が 200 万人を超え、神奈川県内の登録者も 17 万人あまりとなっています。同時に県内に暮らす外国人は多様化しています。在日コリアンなど、植民地支配の結果日本に住むようになった人々、1980 年代から来日したインドシナ難民や中国帰国者の人々やアジア諸国の出身者、1990 年代以降来日したラテンアメリカの人々など、神奈川県内には 161 ヶ国の人々が身近で生活をともにするようになっています。

このような中、数多くの外国籍や外国につながりを持つ子どもたちが日本の学校で学んでいます。昨年 5 月の神奈川県教委の調査では、7000 人を超える外国籍の子どもたちが小中高に在籍していることが確認されています。日本国籍で外国につながりを持つ子どもたちを含めると、その数は相当数に及ぶと考えられます。

神奈川では NGO を中心とする反差別・人権確立、在日外国人支援のとりくみが地域での活動を基盤にすすめられ、行政への問題提起や NGO 間の情報交換が積極的に行われてきました。学校や教職員もそのとりくみから多くのものを学び、在日外国人の子どもたちを目の前にした学校現場での実践に生かしてきました。この学びを基調とする協働関係が、神奈川の在日外国人教育を支える大きな財産となっています。しかしながら、多様化した外国籍の子どもたちの受け入れ、学習支援、母語・母文化保障、進路保障など解決が急がれる課題が山積する一方で、在日外国人に対する差別・排外意識は根強く残っています。

私たちは 2013 年 8 月、関東大震災から 90 年目の年に、第 34 回全国在日外国人教育研究集會を神奈川で開催します。当地での研究集会開催は 1988 年、1998 年、2006 年に続いての 4 回目となります。全国の皆さんが、神奈川の多様なとりくみをはじめとする全国各地の豊かな実践から学び、議論し、交流を深める中で、ともに新たな時代への展望をつくりだしていく大会にしたいと考えます。

多くの方の参加をお待ちしています。

2013 年 4 月

〔主 催〕 全国在日外国人教育研究協議会

第 34 回全国在日外国人教育研究集会・神奈川大会実行委員会

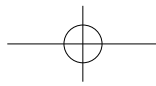
〔全国後援〕 (財) 朝鮮奨学会、全国キリスト教学校人権教育研究協議会、部落解放同盟中央本部、日本教職員組合、移住労働者と連帯する全国ネットワーク、フォーラム平和・人権・環境、全国在日外国人教育研究所

〔地元後援〕 神奈川県、神奈川県教委、横浜市、横浜市教委、川崎市教委、相模原市教委、横須賀市教委、平塚市教委、かながわ国際交流財団、横浜市国際交流協会、川崎市国際交流協会、青年海外協力協会、神奈川人権センター (順不同)

〔実行委員会〕 NPO 法人 在日外国人教育生活相談センター・信愛塾、NPO 法人 多文化共生教育ネットワークかながわ (ME-net)、TIE トマトマの会、移住労働者と連帯する全国ネットワーク、海老名解放教育研究協議会、神奈川県教職員組合、神奈川県高等学校教職員組合、神奈川県人権教育推進協議会、かながわみんとうれん、カラバオの会 (寿・外国人出稼ぎ労働者と連帯する会)、多文化共生ネットワークかわさき、部落解放同盟神奈川県連合会、横浜の民族差別と闘う会、ヨコハマハギハッキョ実行委員会、ツルミオリニ会 (順不同)

第 34 回全国在日外国人教育研究集会・神奈川大会実行委員会事務局

〒 220-0053 横浜市西区藤棚町 2-197 神奈川県教育会館 神奈川県人権教育推進協議会内  
tel 045-348-9002 fax 045-348-9007 e-mail: kkyobun1@gaea.ocn.ne.jp



## 第34回全国在日外国人教育研究集会・神奈川大会 開催要項

◇テーマ 多文化共生社会の実現のための教育を創造しよう

◇日程

8月9日(金)	フィールドワーク・全国在日外国人生徒交流会(～10日)					
8月10日(土)	11:30	12:30	13:20	16:20	17:00	
	受付	開会行事	全体会		全国交流会	
8月11日(日)	9:00	9:30	12:00	13:00	15:30	16:00
	受付	分科会	昼食	分科会	閉会行事	

◇会場

全体会 横浜市栄公会堂(横浜市栄区桂町279-29)

分科会 地球市民かながわプラザ(横浜市栄区小菅ケ谷1-2-1)

全国交流会 地球市民かながわプラザ(横浜市栄区小菅ケ谷1-2-1)

生徒交流会 横浜市野島青少年研修センター(横浜市金沢区野島町24-2 野島公園内)

◇全体会「私の未来、あなたの未来、共に生きる私たちの未来」

1、過去

チャング演奏・「震災作文」朗読(ヨコハマハギハッキョ)、移住労働者の歴史「トーク」(カラバオの会)

2、現在

ブレイクダンス(オルタボイスフェスタ出場者、特に外国につながる友達を持つ日本人に、自分の変容の課程や思いを語ってもらう)、全国在日外国人生徒交流会からの報告

3、未来「『名前』と『国籍』について」

メンバー 本名で生き、国籍を変えない(在日コリアン)、日本名を名のり、日本国籍を取得(インドシナ難民)、名前はそのまま、日本国籍を取得(ブラジルルーツ)、ダブルの子どもたち(アメリカン)、次の世代(赤ちゃん)とその親たち(インドシナ難民)、外国人と共生する日本人、サムルノリ(ツルミオリニ会)

◇分科会

共通課題 ◎<多文化共生>と<本名(民族名)を呼び名のる>とrikumiをすすめよう  
◎<子どもたちや教職員・地域がどう変わったか>を明らかにしよう

1、異なる文化との出会い

- ① 子どもたちに異なる文化とどう出会わせたか。
- ② 在日コリアンをはじめとする外国人の歴史をどう教材化し、親の生活史をどう伝えたか。
- ③ 日本籍・ダブルの子どもにかかわるとrikumiをどう進めたか。

レポート 神奈川・高校、神奈川・中学校、兵庫・小学校

2、本名(民族名)を呼び名のる

- ① 本名(民族名)を呼び名のる関係をどうつくったか。
- ② 在日外国人と日本人の子どもがどのような関係を結んだか。
- ③ 名前の自己決定をめぐる状況はどうなっているのか。

レポート 神奈川・中学校、三重・小学校、奈良・高校

3、学校をひらく

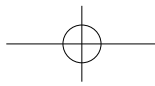
- ① 自立と連帯の場をどのように保障したか。
- ② 地域や保護者・NPOをはじめとする教育支援団体とのつながりをどのように深めたか。
- ③ 民族クラブ・朝問(文)研・多文化研などがどのように活動しているか。

レポート 神奈川・ヨコハマハギハッキョ実行委員会、奈良・小草、神奈川・中地区教育文化研究所/かながわ国際交流財団

4、差別と排外に抗して

- ① 差別事件へのとりくみをどのようにすすめたか。
- ② 排外意識や自民族中心主義を解き放つためにどうとりくんだか。
- ③ 反差別の教育実践をどのように展開したか。

レポート 神奈川・人権と国際連帯の教育推進委員会、神奈川・かながわみんとうれん、兵庫・考える会



5、多文化共生をめざして

- ①多文化共生の教育をどのようにすすめたか。
- ②新たに渡日した子どもたちの教育にどうとりくんだか。
- ③進路の保障はどのようになされているか。

レポート 神奈川・小学校、大阪・小学校、神奈川・高校

6、未来をひらく

- ①進路をめぐる差別の実態はどのようになっているのか。
- ②確かな歴史認識を培い、子どもたちの未来をどうつくるのか。

③専門学校・大学等ではどのようなとりくみをしているのか。

レポート 神奈川・多文化共生教育ネットワークかながわ (ME-net)、神奈川・高校、兵庫・小学校

7、全国在日外国人生徒交流会

- ①名前・進路・生き方・学校・友人等、抱えている問題を出しあおう。
- ②自らをとりまく現状について、明らかにしよう。
- ③先輩の生き方に学び、未来について語りあおう。

◇フィールドワーク

①関東大震災コース (定員 25 人、移動はマイクロバス、参加費 2000 円)

8月9日(金) 13時新横浜駅・新幹線東口改札(グランドショップ前)集合、17時10分横浜駅東口解散  
コース 三ツ沢墓地→久保山墓地→宝生寺→東漸寺

②中華街コース (定員 30 人、移動は徒歩、参加費 1000 円)

8月9日(金) 13時30分石川駅改札前(中華街口)集合、17時横浜市立港中学校解散  
コース 中華街見学(1時間)、横浜華僑の語り(1時間半)

◇全国在日外国人生徒交流会

8月9日(金) 14時、現地(横浜市野島青少年研修センター)集合

8月10日(土) 全体会場へ移動し、その後、全体会で交流会の報告をして解散

※詳細は各地の生徒交流会担当者まで

◇参加申し込み方法

- ・下記の郵便振替用紙に必要事項をご記入の上、大会資料代等を振り込んでください。
- ・全体会と分科会には、当日受付での参加もできます。
- ・郵便振込での申し込みの締め切りは、8月3日(金)です。

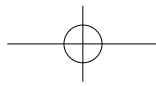
払 込 取 扱 票

払込票兼領収証

00 神奈川		口座番号 (右語にご記入ください)		金額	
002206		124959		千 百 十 万 千 百 十 円	
加入者名 ※ 全外教神奈川大会実行委員会		料金		特殊取扱	
大会参加票をお送りしますので、楷書で正確に記入してください。					
名 前		大会参加		交流会への参加	
		□参加する		□参加する □参加しない	
		□参加する		①□参加する □参加しない	
		□参加する		②□参加する □参加しない	
		□参加する		①□参加する □参加しない	
		□参加する		②□参加する □参加しない	
送金内訳		大会参加費 ¥4,500× 人		フィールドワーク②参加費 ¥3,500× 人	
		交流会参加費 ¥3,000× 人		フィールドワーク③参加費 ¥ 500× 人	
		フィールドワーク①参加費 ¥2,000× 人		¥ 500× 人	
		フィールドワーク②参加費 ¥1,000× 人		送金合計額 ¥ _____	
払込人住所氏名 ※ (郵便番号 _____)		受付局日附印			
(電話番号 _____)					
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)					

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください

※ 002206		※	
口座番号		右語にご記入ください	
124959			
加入者名 ※ 全外教神奈川大会実行委員会		金額	
		千 百 十 万 千 百 十 円	
払込人住所氏名		※	
(消費税込み)		受付局日附印	
料金		円	
特殊取扱			



#### ◇大会・フィールドワークの費用について

・大会参加（大会資料代等） .....	4,500 円
・全国交流会 .....	3,000 円
・フィールドワーク① .....	2,000 円
・フィールドワーク② .....	1,000 円

#### ◇書籍・資料の販売、展示について

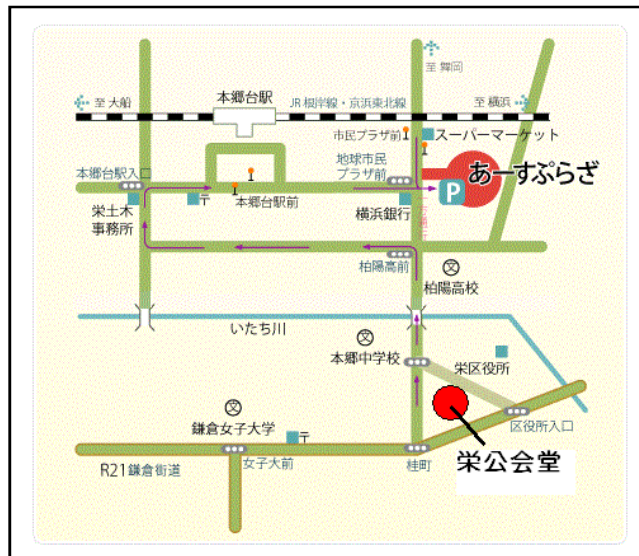
書籍・資料の販売を行いますのでご活用ください。大会本部で認められた場所以外で行うことはできません。

#### ◇その他

ビラ・署名は、大会本部の許可のないものは認められません。広告、チラシは前もって「大会要綱集」に刷り込みますので、問い合わせてください。

#### ◇宿泊

各自で予約をお願いします。



この受領証は、郵便局で機械処理した場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

#### ご注意

この払込書は、機械で処理しますので、口座番号および金額を記入する際は、枠内に丁寧に記入してください。

また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

(ゆうちょ銀行)